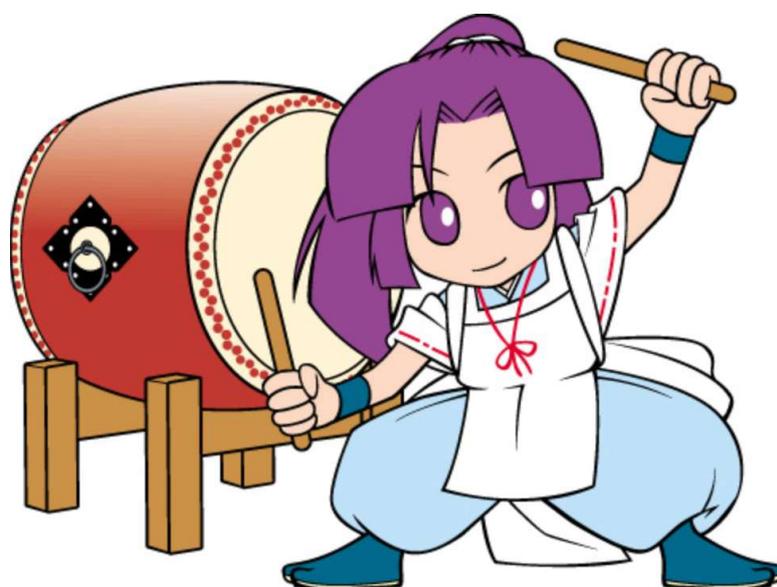


第40回京都府高等学校総合文化祭

郷土芸能部門プログラム



〈日時〉 令和5年11月5日(日) 開場:14時15分 開演:14時30分

〈会場〉 東部文化会館

京都府高等学校文化連盟郷土芸能専門部会長挨拶



今年は五月に新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行されたことで、ようやく通常の教育活動が戻り、どの学校も様々な学校行事が本格的に再開されるようになりました。ただ、夏休みが終わってからも例年以上に感じる猛暑は容赦なく続き、そのような状況の中で再び新型コロナウイルスの感染が全国各地で拡大しました。特に今回は、同時に季節外れのインフルエンザも流行し、2学期早々大変だった学校も少なくなかったのではないのでしょうか。しかし、そんな日々も少しずつ落ち着きを取り戻し、日増しに秋の深まる気配を感じながら、今年も無事に京

都府高等学校総合文化祭が開催されます。

この大会は芸術文化活動にいそむ京都府の高校生が一堂に会し積極的な交流を通して、互いの夢を語り友情を育む貴重な機会となります。そんな大会に参加するみなさんには、この大会が多くの人たちの協力の下で開催されるということをしっかり理解し、感謝の気持ちを持って参加してほしいと思います。そして、この日のために厳しい練習に耐え、心をひとつにして取り組んでこられた成果がしっかり発揮されることを期待しております。

最後に、本大会開催にあたり、温かいご支援、ご協力をいただきました関係者の皆様にご心から御礼申し上げます。今年も実りある大会となることを心より祈念してご挨拶いたします。

京都府高等学校文化連盟郷土芸能専門部

会長 安田 文彦

(京都橘高等学校長)

プログラム

1. 京都府立南丹高等学校「出雲風流花踊り」

2. 京都府立南陽高等学校「マジックショー」

3. 京都府立嵯峨野高等学校「口真似」

4. 京都光華高等学校「光響」

5. 京都府立北嵯峨高等学校「四つ太鼓・越後晒し・獅子と土蜘蛛」

6. 京都橘高等学校「呼響」



各団体・演目紹介

1. 京都府立南丹高等学校「出雲風流花踊り」

団体紹介

出雲風流花踊り神事を維持・永続するために設立された出雲風流花踊り保存会は、平成23年の国民文化祭・京都2011をはじめ、亀岡市内外のさまざまなイベントに参加するとともに、小学校等での体験学習指導等、保存・継承活動を行っています。南丹高等学校の学校設定科目である京都文化学入門においても、保存会の指導を受けて、出雲風流花踊りを習っています。



演目紹介

京都府亀岡市にある丹波国一之宮の出雲大神宮において、4月に行われる鎮花祭で出雲風流花踊りが奉納されます。季節の花を意匠とした花笠をかぶり、碁太鼓を打ちながら踊り奉納される出雲風流花踊りは、京都府無形民俗文化財に登録されています。

読み仮名

出雲風流花踊り：いずもふりゆうはなodorい 出雲大神宮：いずもだいじんぐう
鎮花祭：はなしづめのまつり 花笠：はながさ 碁太鼓：しめだいこ

2. 京都府立南陽高等学校「マジックショー」

団体紹介

はじめまして、南陽高校マジック部です。現在、私たちは中学生5人と高校生8人で日々活動しています。大規模なイリュージョンマジックからテーブルマジック、ジャグリングまで、観客の方に幅広く楽しんでいただけるように、部員一人ひとりが日々練習と研究に励んでいます。地元の子ども会や高齢者施設などが主催する地域のイベントに呼んでいただき、練習の成果を披露しています。



演目紹介

今回の出演で披露させていただく内容は、マジックのネタに関わるのでくわしくはお伝えできません。しかし、実際にマジックを見たことがある人も、まだ見たことがない人もきっと不思議な体験ができると思います。ぜひ、楽しんでご覧ください。

3. 京都府立嵯峨野高等学校「口真似」



団体紹介

嵯峨野高校は「和敬清寂」という茶道の心を建学の精神とし、学科名を「京都こすもす科」とするなど京都の伝統文化を尊重しています。2009年、大藏流狂言師茂山千五郎先生の御指導による狂言の取組が始まり、2016年には狂言部が発足しました。毎年12月に能舞台で狂言会を開催するほか全国高校生伝統文化フェスティバル等に出演してきました。現在、部員は2年生1人、1年生2人。今日は全員で狂言「口真似」を演じます。

演目紹介

主人が太郎冠者に「良い酒を貰ったので、面白く飲める相手を呼んでこい」と命じます。ところが太郎冠者が連れてきた客は、酒癖が悪いことで有名な男。困った主人は、穏便にもてなして帰そうと、「おまえは行儀が悪いから、自分が言うとおりにするとおり真似をせよ」と言いつけます。すると太郎冠者は、主人の言葉や振舞いを、一言一句、そっくりそのまま客にむかって繰り返しはじめました。どういうことなのでしょう…？

読み仮名

和敬清寂(わけいせいじゃく)、大藏流(おおくらりゅう)、茂山千五郎(しげやませんごろう)

4. 京都光華高等学校「光響」



団体紹介

京都光華高等学校和太鼓部は、平成19年和太鼓同好会として発足しました。現在は関西唯一の女子校和太鼓部、中高一貫のクラブ活動として、知徳体のバランスのとれた人となるために、そして、校訓の「美しいひととなろう」を軸として、美しい姿勢・魅せる演奏を目標に練習に励んでいます。披露できる演目も増え、7月には初めての定期演奏会を開くことができました。地域での演奏などにも参加し、和太鼓の魅力を伝えています。

演目紹介

本日演奏します「光響」は、和太鼓奏者の加藤秀明さんに作曲して頂いたオリジナル曲です。京都の町に射す様々な光を太鼓の響きで表現します。東山から朝日が昇る静謐から始まり、人々が目覚め町に活気が溢れます。その後、空に暗い雲がかかり、小さな光が集まり出し、やがて大きな稲光となります。雷の語源は「神の鳴らす音」。雷神様の太鼓のような迫力のある音で曲を締めくくります。ぜひ、物語を想像しながらお楽しみください。

読み仮名

光響……こうきょう

加藤秀明……かとうひであき

静謐……せいひつ

5. 京都府立北嵯峨高等学校「四つ太鼓・越後晒し・獅子と土蜘蛛」-



団体紹介

開校2年目に創部された郷土研究部は、京都の伝統芸能の継承に取り組んできました。特に平成16年度からは「六音踊」を学ぶ活動を続けています。平成18年度に全国総文への出演や中国・西安市への親善訪問を行ったほか、京都コンサートホールで開催される全国高校生伝統文化フェスティバルにも平成25年度・平成26年度・令和元年度に特別出演させていただきました。その他、高齢者施設への慰問公演なども行ってきました。

演目紹介

六音踊は、宗教的芸能である六音念仏の中に、様々な芸能が取り入れられて成立した郷土芸能です。四つ太鼓は、台上に置いた4つの太鼓を、篠笛と鉦の伴奏に合わせて、演者が入れ替わり早打ちしていく演目で、演者毎のリズムの強弱の付け方の違いが聴き所です。越後晒しは、九代目杵屋六左衛門が作曲した長唄の旋律に合わせて、互太鼓の相打ちと白い晒し布を使った踊りを繰り広げます。獅子舞では邪悪な土蜘蛛との対決を表現します。

読み仮名 九代目杵屋六左衛門 きゅうだいめ きねやろくごえもん

6. 京都橘高等学校 「呼響」



団体紹介

私たちの学校は、水と緑に恵まれた歴史の町、京都伏見にあります。文武両道を掲げ、学習にも部活動にも力を入れています。吹奏楽部、女子バレーボール部、男子サッカー部、陸上競技部が全国の舞台で活躍しています。太鼓部は1982年に太鼓サークルとして発足し、現在は京都橘中学校・高等学校太鼓部として活動しています。「心は一つ」を合言葉に、基礎基本を重んじ、日々活動に励んでいます。

演目紹介

本楽曲「呼響」は本校コーチ北村多喜雄先生のオリジナル曲です。モンゴルの大草原を舞台に様々な展開が繰り広げられる様子をイメージした曲となります。雄大な草原を篠笛と二胡のハーモニーで、草原を駆け抜ける馬の軽快なリズムを締太鼓で、さらに吹き荒れる自然の猛威を大太鼓と鉦桶で、そして最後の全員演奏では、馬に乗り大草原を颯爽と駆け抜ける様子を表現します。部員の爽やかで力強い表現、演奏に注目してお聞きください。